

動物 野鳥 昆虫



ニホンジカ (通年)

シカの角は毎年春に生え替わる



ニホンアナグマ (通年)

道路沿いなどでときどき見かける



アカゲラ (通年)

キツツキの仲間でおなかの赤い色が目立つ



ウグイス (夏)

日本三鳴鳥の一つで日光市の鳥にも選ばれた



カッコウ (夏)

木の高いところで「カッコウ」と鳴く中型の鳥



キビタキ (春～夏)

森の中で美しい声でさえずる



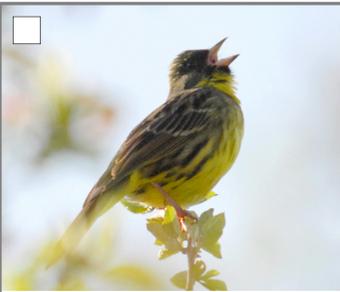
ノビタキ (春～夏)

キスゲ平の草原のなかで見られる



コガラ (通年)

標高の高いところでよく見かける小さな鳥



アオジ (春～夏)

木の枝の茂みで美しい声でさえずる



ホオジロ (通年)

草原のところどころで見られる



アカハラ (春～夏)

早朝や夕方に美しい声でさえずる



アキアカネ (7~9月)

7月に平地から飛んできて9月に帰るアクトンボ



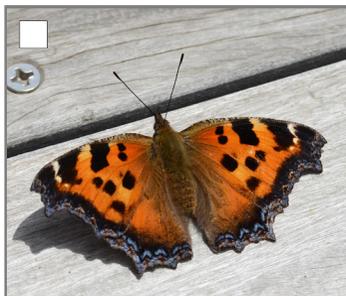
エゾハルゼミ (6~7月)

は晴れた日に一斉ににぎやかな声で鳴く



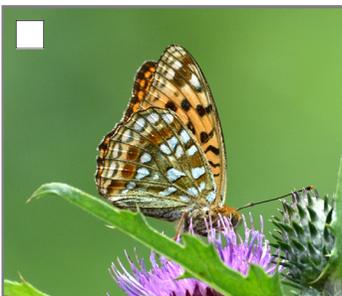
キアゲハ (5~9月)

ミヤマセンキュウを食べる幼虫をよく見かける



ヒオドシチョウ (4~9月)

成虫で冬を越し早春の暖かい日に良く見かける



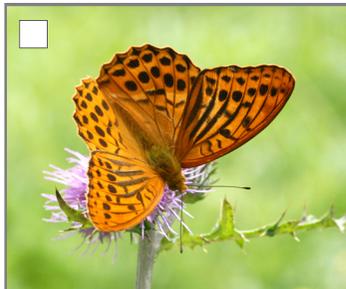
ウラギンヒヨウモン(7~9月)

夏の高原の代表する蝶でアザミ類の花に集まる



ツマグロヒヨウモン(6~9月)

近年全国的に増加している蝶



ミドリヒヨウモン (7~9月)

花によく集まり、羽の裏側が緑がかった色



アサギマダラ (6~8月)

渡りをする蝶でヨツバヒヨドリの花に集まる



ウラジヤノメ (7月)

短い期間だけに見られる蝶



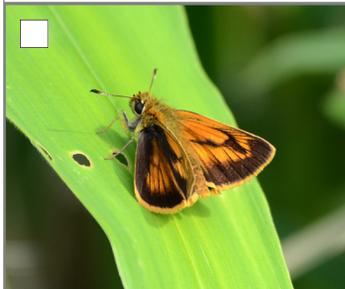
クロヒカゲ (6~9月)

森の暗いところを好み素早く飛ぶ



イチモンジセセリ (7~9月)

アザミ類の花に群れて集まる



ヒメキマダラセセリ (6~8月)

草原を好むセセリチョウ

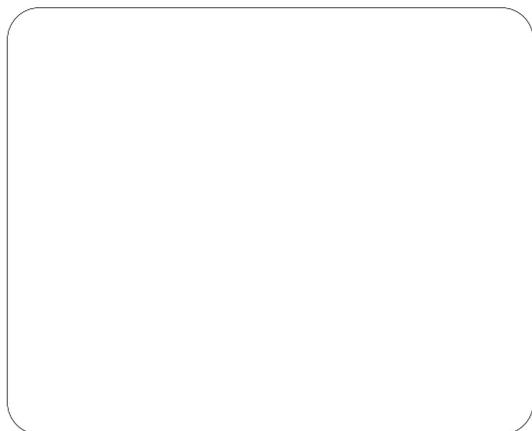
～ハイキングのマナー～

- ごみは持ち帰^{も かえ}りましょう。
- 野生動物^{やせいどうぶつ}にえさをあたえないようにしましょう。
- 野生の動物や植物^{しよくぶつ しぜんぶつ}などの自然物^{さいしゆ}を採取したり、地いき外に持ち出したりしないようにしましょう。
- オオハンゴンソウやフランスギクなどの外来種^{がいらいしゆ いにゆうしゆ}が移入種^{もんだい}として問題になっています。その地いきにない動物や植物を持ちこまないようにしましょう。
- 道路・歩道や決められた場所^{ばしょ}以外^{げつたい}は立ち入らないようにしましょう。
- 木道からは絶対^{ぜつたい}におりないようにしましょう。
- 歩く際にはあいさつも大切なマナーですが、団体^{だんたい}の全員^{ぜんいん}があいさつするのはかえって迷^{めい}わくになります。何人かがあいさつし、後はおじぎ程度^{ていど}にするなど、相手を気づかうことがマナーの基本^{きほん}です。静けさも大切な自然の一部^{しず}です。
- 地いき内でそう音(大声、カーステレオ、ラジオ、エンジン音など)を出さないようにしましょう。
- トイレは決められた場所^{ばしょ}でしましょう。



～調べてみよう～

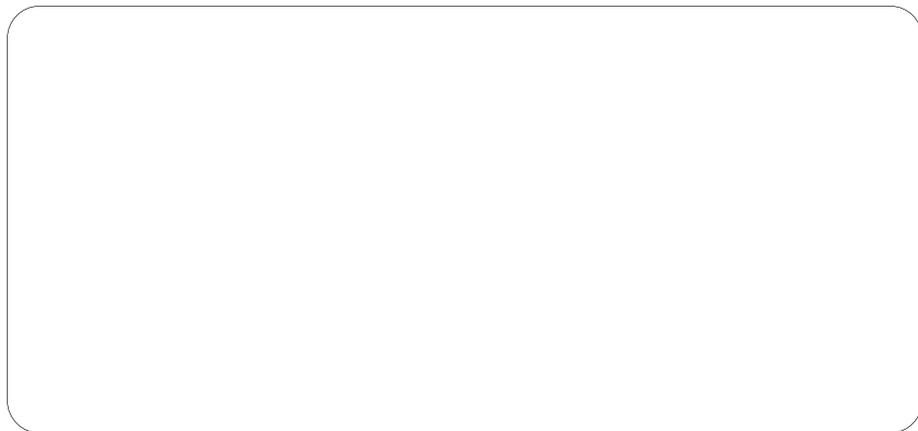
「霧降高原キスゲ平」で調べてみたいことを話し合っ、書いてみましょう。

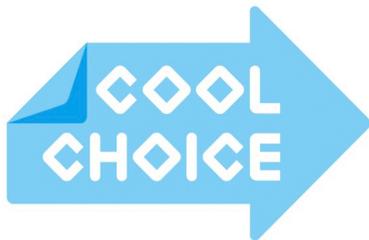


～調べてことをまとめてみよう～

例 草にウラギンヒョウモンがとまっていた。

コガラやノビタキなど、家の周りにはいないとりが見られた。 など





ひとりひとりができること
**ゼロカーボン
アクション30**

未来のために、いま選ぼう。

ちきゅうおんだんか せかいきぼ たいおう もと さ じゅうよう
地球温暖化は世界規模での対応が求められており、避けることのできない重要な
かだい
課題です。

きんねん たいふう おおがたか ごうら もうしょ ねっちゅうしょう そろか
近年は台風の大型化やゲリラ豪雨、猛暑による熱中症が増加するなど、私たちの
せいめい ざいざん きき せいたいけい えいぎょう あた
生命や財産の危機、さらに、自然環境や生態系にも大きな影響を与えております。

2015年に、すべての国が参加する形で、2020年以降の温暖化対策の国際的枠
く きょうてい さいたく せかいきょうつう もくひょう へいきんきおんじょうしよ
組み「パリ協定」が採択され、世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2℃
みまん おさ どりよく おんしつこうか
未満にする（さらに、1.5℃に抑える努力をする）こと、今世紀後半に温室効果ガ
はいしゅつ じっしつ う だ
スの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。

その後、2020年10月に、我が国は2050年カーボンニュートラル宣言を行い、
せんげん おこな
2021年4月には、2030年度に2013年度比で46%削減を目指すこと、さらに50
ひ さくげん めざ
%の高みに向けて挑戦を続けていくことを表明しました。日光市でも2021年12月
たか む ちょうせん つづ ひょうめい
24日に2050年ゼロカーボンシティ宣言を行いました。



「COOL CHOICE」は、CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社

会づくりに貢献する「製品への買換え」、かい「サービスの利用」、かい「ライフスタイルの
せんたく
選択」など、日々の生活の中であらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

今できるCOOL CHOICEを考えよう！

例 でんき 電気の使い方を工夫して…だれ誰もいない部屋は、へや電気を消す。

かんが ごみのへらし方を考えて…か買いたものではエコバッグを使い、ぶくろビニール袋の使用を
しょう減らす。

しぜん 自然の活用を目指して…かつよう植物や木を植えて、めざ自然をふやす。 う など

[参考]

～霧降高原キスゲ平に関すること～

<http://www.kirifuri-kogen.jp>



[協力者]

日光市環境学習センター自然解説員

駒倉政夫氏，吉原博司，飯村孝文

一般財団法人 自然公園財団日光支部

令和5年3月 発行

発行：日光市役所市民環境部環境生活課